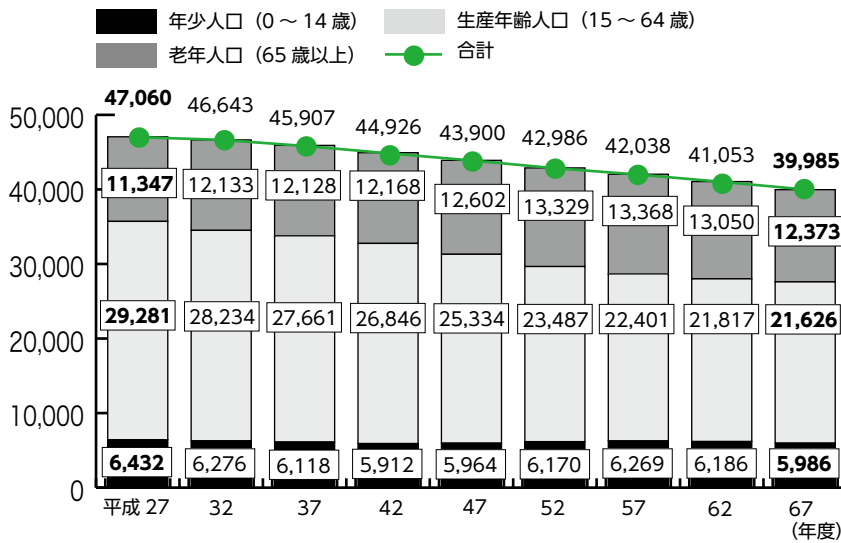


公共施設のこれから (第2回)

都市整備課宮繕グループ (☎ 38-5814)



※岩倉市人口ビジョン (平成 28 年 3 月策定) を基に作成

「岩倉市人口ビジョン」における将来推計値によると、今後40年間で岩倉市の人口は約7千人減少する見込みです。また、若い世代の人口が減少する一方で高齢者の人口は増加し、少子高齢化が進行することが予想されます。

人口の減少による税収の減少や、少子高齢化の進行による福祉関係費用の増加で、財政状況が厳しくなることが懸念されます。

岩倉市の人口は今後どうなるの？

施設の修繕や建替えにどのくらいの費用が必要なの？

施設区分	経費の見込み (①)	財源の見込み (②)	過不足額 (②-①)
公共建築物	約 334 億円 (約 8.4 億円/年)	約 168 億円 (約 4.2 億円/年)	△約 166 億円 (△約 4.2 億円/年)
インフラ資産 (道路・公園など)	約 156 億円 (約 3.9 億円/年)	約 152 億円 (約 3.8 億円/年)	△約 4 億円 (△約 0.1 億円/年)
インフラ資産 (上水道、下水道)	約 128 億円 (約 3.2 億円/年)	約 176 億円 (約 4.4 億円/年)	約 48 億円 (約 1.2 億円/年)
合計	約 618 億円 (約 15.5 億円/年)	約 496 億円 (約 12.4 億円/年)	△約 122 億円 (△約 3.1 億円/年)

今ある公共施設を今後も保持すると仮定したうえで、今後40年間でどれだけの費用が必要かを試算した結果、公共施設の建て替えや修繕に約618億円(約15.5億円/年)が必要となる見込みです。これに対して、公共施設の建て替えや修繕に充てることができる財源は約496億円(約12.4億円/年)となり、約122億円(約3.1億円/年)不足します。施設の建て替えや修繕に必要な費用が増加し、市の財政を圧迫するというような試算結果となりました。

今後、人口の減少や少子高齢化の進行などにより人口構造が変化する中で、市の財政状況についても厳しくなることが予想されます。その一方で公共施設の建て替えや修繕に多くの費用が必要となり、財源が不足することが予想されます。

このように財政状況が厳しくなる中で施設やサービスを維持していくためには、施設の点検や修繕を適切に行うこととで施設を長寿命化する、施設の複合化やよりコンパクトな施設への建て替えなどにより施設の床面積を減らす、運営を適正化するなど様々な取り組みが必要となります。

現在策定中の「岩倉市公共施設再配置計画」では、施設ごとに今後どのような取り組みをしていくのか、その方針を定めていきます。